

「使用上の注意」改訂のお知らせ

高血圧・狭心症・不整脈・片頭痛治療剤

劇薬、処方箋医薬品<sup>注)</sup>

日本薬局方 プロプラノロール塩酸塩錠

**プロプラノロール塩酸塩錠 10mg 「日医工」**

製造販売元 日医工株式会社  
富山市総曲輪1丁目6番21

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜改訂内容＞（                    ：自主改訂による削除箇所）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 省略（変更なし）			10. 相互作用 省略		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤 <u>β遮断剤（チモロール等の点眼剤を含む）等</u>	交感神経系の過剰の抑制（徐脈、心不全等）をきたすことがあるので、減量するなど慎重に投与すること。	相互に作用（交感神経抑制作用）を増強させる。	交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤 <u>レセルピン、β遮断剤（チモロール等の点眼剤を含む）等</u>	交感神経系の過剰の抑制（徐脈、心不全等）をきたすことがあるので、減量するなど慎重に投与すること。	相互に作用（交感神経抑制作用）を増強させる。
血糖降下剤 インスリン、アセトヘキサミド等	血糖降下作用が増強されることがある。また、低血糖症状（頻脈等）をマスクすることがあるので血糖値に注意すること。	血糖値が低下するとカテコールアミンが副腎から分泌され、肝でのグリコーゲンの分解を促し、血糖値を上昇させる。このとき、肝臓のβ受容体が遮断されていると、カテコールアミンによる血糖上昇作用が抑えられ、血糖降下作用が増強する可能性がある。また、カテコールアミンによる頻脈のような低血糖症状がマスクされると考えられている。	血糖降下剤 インスリン、 <u>トルブタミド、アセトヘキサミド等</u>	血糖降下作用が増強されることがある。また、低血糖症状（頻脈等）をマスクすることがあるので血糖値に注意すること。	血糖値が低下するとカテコールアミンが副腎から分泌され、肝でのグリコーゲンの分解を促し、血糖値を上昇させる。このとき、肝臓のβ受容体が遮断されていると、カテコールアミンによる血糖上昇作用が抑えられ、血糖降下作用が増強する可能性がある。また、カテコールアミンによる頻脈のような低血糖症状がマスクされると考えられている。
省略（変更なし）			省略		

<改訂内容> ( \_\_\_\_\_ : 自主改訂による削除箇所)

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意 (併用に注意すること) (つづき)			10.2 併用注意 (併用に注意すること) (つづき)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
クラスⅠ抗不整脈剤 ジソピラミド、ブ ロカインアミド等 クラスⅢ抗不整脈剤 アミオダロン等	過度の心機能抑制 (徐脈、心停止等) があらわれることが あるので、減量する など慎重に投与する こと。	抗不整脈剤は陰性変 力作用及び陰性変時 作用を有する。β遮 断剤もカテコールア ミンの作用を遮断す ることにより心機能 を抑制するため、併 用により心機能が過 度に抑制される。	クラスⅠ抗不整脈剤 ジソピラミド、ブ ロカインアミド、 アジマリン等 クラスⅢ抗不整脈剤 アミオダロン等	過度の心機能抑制 (徐脈、心停止等) があらわれることが あるので、減量する など慎重に投与する こと。	抗不整脈剤は陰性変 力作用及び陰性変時 作用を有する。β遮 断剤もカテコールア ミンの作用を遮断す ることにより心機能 を抑制するため、併 用により心機能が過 度に抑制される。
省略 (変更なし)			省略		

<改訂理由>

- ・すでに販売中止・経過措置期間満了となっている「レセルピン」「トルブタミド」「アジマリン」を  
10.2 併用注意から削除しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ®」で下記 GS1 バーコードを  
読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ®」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または  
「Google Play」よりダウンロードしてください。

プロプラノロール塩酸塩錠「日医工」



(01)14987376366516

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品  
安全対策情報 No.339」(2025年9月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)  
ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載されます。

プロプラノロール 25-021A